湖月抄

全二冊

尊經閣文庫

横笛 細 巻名以事号之 [illegible]

[illegible]

盃 以事類為巻名 [illegible]

[illegible]

四十九巻二月中ぐのうちあり 柏木の巻は四十八巻の終也

乃ち中也 [illegible]巻は二巻 白文三巻 [illegible]

故権大納言 細 柏木遊宴中納言よりはじめて権大納言 義 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

本の追善と別に李部王記に天慶十年三月十九日の御八講の結願に修し
諷誦料金百兩納瑠璃壺施入のよしあり 略記之

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のよハわれ人年をしてまつらし
山よりわれらそもろ　河海捨遺　義の母よりわれ世よりそもろ
人のこゝろよハ　義　女三宮女房　なつ草子河内　ゆくすえ
こゝ今ハ世を背きなりたるこゝろ

ハあるそれなれ　細内文の端古の句
やうなりたる　義の野辺山露もしをれどく
しられどこゝろぶかくなりぬ出家をして　孟野老筍
作る　朱雀
世をそもろれ入るんたいとなるもの所
を思ひしらぬよいとこゝろさわぎよるんあり
とこゝろしまつりを　皇の
原　流ぐして　ぬどる
世ぐのこゝろ　こゝろ　こゝろ　こゝろ　こゝろ　こゝろ　こゝろ　こゝろ
まへちらこゝろ　らいしどもを　なぞあやし
原の　朱雀の
ちんどこゝろ　流のはつこゝろ　こゝろ　こゝろ

世をそもろれ　細　女三の宮
そもろ　をを久のふ
なるれバあるこゝろ山住
どこゝろ　住の
を上菩提の　よいとくれ
住そもろ　こゝろ　こゝろ　こゝろ
世菩提　仰　世をそもろれハ
父のはの　こゝろ　こゝろ
もそれ女三の山住よそもろれ
こゝろ　暁　朱雀　こゝろ
住ハ会通父の　こゝろ　こゝろ
ゆ　こゝろ　こゝろ　こゝろ
こゝろ　こゝろ　河　池蓬本
願経日琴至親　岐路各別

紙　桐逢　音背代度　受イ　細　河海　池蓬本
のこゝろ　こゝろ　義　こゝろ　河　こゝろ　河　こゝろ
こゝろ　細　こゝろ　こゝろ　河海　こゝろ　こゝろ
こゝろ　こゝろ　こゝろ　こゝろ　こゝろ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孟 夕の四より女三と柏木
しのよりかのくよ和と
くれ入りこづりいを
しらくもし

孟 多集万葉暦上円

すぐさ
孟 すぐさいあつまらぐ
秀ぐさをの秋りさすし

ひの春をしげき　細　琴の音一ひらずつ

柳木の花みも一条天皇

とみくしのみ木の上村

雀もこのりぞよひ

ろうて虫の枝そくん

秋ふひ屋くくとあり。

引合てこうぞきう

ろくくろあくろう　細　夕雲のくん　食多の食法

ろうをとろう　孟　やう

ろうろ不ろて　ねん人のくん

少ろう柳くく

五月のつゆ　細　ぼ　ハ

柳木平せりてろくく

くすこうまひく　前義の花ども　ひの

ねこびけき　野べこうれこうゆふぐ人をこ

こくくこのりぞよひ　結和琴をひさこせこまへれぐこち

ろうろうよろくべられくいこうくひきろくくこうる。

ひとぐよこて　ろくくこうゆげ　やこうる

ふあくこりよ　ぐひのまくるすこうろあう

人こうぐひくこくてさ　海あくこけ

こうひとこもあくてこうまくこ名をこさ

つるぐこうくこうぐけつくこうる

まあ　あ　ものひよひこまひくくこうり

こうり　あくこうひこりるぐすくひ

こうくあいくめぐくこうるうねこうこ

ゆくしみる　細　女二宮の山

琴の音ぐ柳木の名所

いこうり作ろくん

孟　柳木の枝をとこくこ

ろくくひろくん　女二のこと

夕雲の山　鳥羽への初く

くこのとこくこふ

細　山　鳥羽の初　都　をさ

へろくふ　ひて　ま　書の

わくひくそ　ハ　ひ　ぐ　引き

ふぐこくこうそ　ものこと

く　伊　伯　月　今　事　あり

雲の山まくこうて　ろくこう

雲　米　産　作　も　女　を　を

の　山　ま　ハ　女二宮の山　を

ろぐこう　ど　山　宝　めを

こ　山　鳥羽の　夕　雲　ろ　こ

つこまくく

せのくくこつまこ　細　霞　帯を

のど　後　ろ　ふ　こ　ま　雲　ぞ

このくくこつまこくひ

ぶろこ　ぼ　今　ハ　こ　こ　ぐ

ひくん　も　柳　木　の　こ　を　ぼ

ひこうつまこくろぐこ　柳

ゆこくこ　女二宮の山

琴の音ぐ　孟　着也

こくこ　ひ　こ　ろ　ぐ　こ　の　山　こ　こ　ま　こ　ま　こ　ま　り

こ　こ　こ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つべくるんとく 咲と歌
の面白さにハタ多ふて
りくふくの猫乃ねと
人ゆくとべきと文塩ゆ
よすくくくてくくくの
ても夕雪の引ものねで
ものくよせん行もるさ
くくば附ハ意よあ〜ぞ
只今のづら行もあそえ
くぬくく 血脈同義
色よくん 細 山島不の絵
およ夕雪の何よ山はくん
もくりて行くんうと
ぶ何をうけくうお筆
の寄よ山笹の中来湯ゆ涙
くう作りくうゆありそ
れを女房のるくくく
ものんも仏あるあやうん
べつまこめそ の多ゆ 絵
よ文選風藻ノ吹笛作恩
回賦ニ ごとあ引よ及ぶ紀
ゆくれくくをるん 細 くくく
の声よあ〜くひて笛の声
の中んをくう油引くくく

よん 細 別よ山笹ゆ猫
つ猫よ笹くくて生れ行 久山島不の何
くくよ山るくくくもつくくるべくゆを
くく行りくくんどくくうくくくよう
をあくれよくゆるをゆくれよくくん
くあるんくくそなぶくくもいぶうくく行くと
くくくくくんべ夕雪の何 くくくくくぬ涙ゆよこ
そ行べくれ 細 猫木の和歌なし抱くん
くくくて生れくくよ行れもげよくと
くくよ分あくくくて作くくくくくくて
 細 猫の絵
くくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の　曉　雲井屋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あいまつのとちめよ
伝聞眼のけうく 細 伝聞
の一念ぜ愛八愛れうと
とり 臨終一念生涯是
定云云

とくぐよ 細 拍木の
葬を仕ておりや 信人の葬
おうれいぐく
のうせのる 細 幾仕人
信方のるるべし 信
るるぐよ准ち 芳裏紫
よあり 幾 拍木の則
て 論依のるるべし

しりのく ゆべさうさみもあるべ 女の法
ミ多愛の信ぎ 伊 三宮よ
つてんうひるさとや いぐ 拍木のく とひつてんご
の世そうどそよとひいれねこもの いい
まけのくぐりよ 一念のうくかさに
ちいい義ともうよまけられてそ
ハぐさうさの闇 つもまぐみるぐれが
とうふよ こそいはぐみをうくいぐめぐ
よ 鋼経をうせ 信人のんうせのるみも
をうせ のうて びみえとびけ ぐと人のさう
ゆ人みうさ りのまそひうさ出まうしを
こちよ 仏の信よ 信よ敬ちんもいぐと 孟敬金ちうる赤
名拍うれべくく

女法のれうさよ
信八明石女法のれうさにおハ
しまれをうで夕方公家
上の方人おハせうく 味 蓮

うるこそ 紅 三宮大傅を
しびてのまうり

うづくくこまりて
細 我男とは男をうで
けうぐよのうう
ミもの まんと
細 紫上の方れ男人く 暁 夕
香の法ぐを法ん うう
あしうのうう 暁 大君乃
みりくくん
みりとんのうねやうにら
くうんうく 細 月

ここくいひすぐくあんうるべしと
ちひて 細 明石の女法く 三宮法へまうく
よおりて 法へ 三宮院よ まうまひね 女れの法方
うりあく 細 白夫人 細 紫
上のうまうよりうくあるうよりうこのうめこそ
白夫人を紫上の方よりうく 暁 蓮
ぐこうまうておりてゆませ
白夫人の
法うるべつを出ておうるこそ やいぐこ
さまりうく あるうこんみてあうこうこと
づくくこまりていうこうこのうるげよ
おう夕方の白
のうまんべいうもうくひうく おうこうまをいう
でうこうまんどべうもうう法うこんべうこう
白夫人の
やうくくるうんうこうこうこうりてねこ
まうれべんもうこうず まうづかいうくうん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

と女三の宮の鬼しやくびの孫文
まうとしくれば海の中の孫文
ちりのやうにいとりらく
いたきまでもしくされば女三
のみやいとをあるうんとけ
ぢめなくいとりとのみと

うみうそのいらごへをとくとくやのれらてろ
の鬼しやくびの孫文のの孫の孫の
ちりのやうにいとりらくんとうれもんの
いたきまでもしくされば女三
のみやいとをあるうんとけ
ぢめなくいとりとのみと

ちりのやうにいとりらく
いたきまでもしくされば女三
のみやいとをあるうんとけ
ぢめなくいとりとのみと

花の枝のれく蔦ちりてとをな
つくくやうなきこの海へいたりつまおちらら
みさあねのるとーのうぐりをそていと
じちちらひちらつちきこみと
ちちちこまうよりしげよてつ
ちちち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 佛殿南宮式部は貞保親王八條の遺者と清和帝より母深
殿后陽明院の御方[illegible]それを第二の又式部[illegible]
とのまつべしとて[illegible]年の十二月朱雀院の正室の母宮にて現存[illegible]
[illegible]紫上の服のことなり 絵は桃園式部と貞保親王にしてうつる
[illegible]

[illegible]のいづこにかものみまほしきとの思ひ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

細 孫のたまはれいよいよ多くおろかにくるしみ
たまはれいよいよ悪びとそしるみよ

細 孫の孫 孟 孟 孟